

今回のジオパーク通信では、爆発70周年を迎えた昭和山についてご紹介します。

1943（昭和18）年の冬、洞爺湖温泉で地震が起ころはじめました。震源は少しずつ移動していき、壮瞥の東九萬坪地区の畑で、1944（昭和19）年6月に最初の大爆発が起こります。

この年の7月には火口から火砕サージが発生し、洞爺湖に流れ込みました。火砕サージに巻き込まれた湖畔の原生林や家屋は、なぎ倒されたり、幹や葉が焼けたりして枯れてしまいました。

現在、湖畔でみられる植林されたトドマツ並木は、この時被害にあった原生林のあとに植えられたものです。



昭和山

もともと平らだった麦畑は、十数回の爆発をくり返し、隆起を続けましたが、最初の爆発から約1年で成長が止まり、407mの昭和山となりました。

最初の爆発から、今年でちょうど70年。昭和山は温度の低下とともに標高が低くなり、現在は398mになりましたが、「変動する大地」の魅力を物語る見どころのひとつとして、今も多くの人を惹きつけています。



火砕サージのあとに植えられた湖畔のトドマツ並木

## 催し案内

### 『箱根ジオパーク&洞爺湖有珠山ジオパーク紹介展』 開催中！

温泉、湖、ロープウェイ、活火山…と、洞爺湖有珠山地域と共通点の多い、神奈川県箱根町。金太郎のゆかりの地「金時山」や「芦ノ湖」「大涌谷」などの火山由来の見どころの他、東海道きっての難所として知られた箱根山中に設けられた「箱根関所」など、歴史的見どころも多い地域で、2012年に近隣の小田原市、真鶴町、湯河原町とともに「箱根ジオパーク」となりました。

今年、箱根町と洞爺湖町が姉妹都市提携50周年を迎えることから、洞爺湖町主催の特別展が開催されています。ぜひご来場ください。



芦ノ湖から見える富士山。洞爺湖から見える羊蹄山にそっくり？

- ★開催期間 7月26日～10月15日まで  
9：00～17：00
- ★開催場所 北海道洞爺湖サミット記念館  
(洞爺湖観光情報センター3階)  
入場無料